

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の世界的流行後における  
自殺予防・遺族支援のあり方に関する学際的研究集会

Interdisciplinary study meeting for suicide prevention and survivor support  
after the COVID-19 pandemic

# 自殺対策の持続可能な 発展に向けて

統計数理研究所公募型共同利用採択課題 2022-ISMCRP-5006

**趣旨：**2021年の共同研究集会においては学際的研究者と自殺予防・自死遺族支援の実践者が集い、新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的流行下における自殺予防・自死遺族支援のあり方について発表や意見交換を行いました。

この研究集会においては、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の世界的流行後と自殺対策基本法施行 20 年に目を向けて、持続可能な自殺予防・自死遺族支援について報告し、それをもとに意見交換します。ぜひご参加ください。

**会場：**統計数理研究所 / ウェブ参加可

東京都立川市緑町 10-3

**日時：**2022年11月4日(金)・5日(土)

9:30-16:30

**参加者数：**現地参加 50 名、ウェブ参加 100 名を予定

参加申込は  
こちらから



11/4 金

9:30-12:30

趣旨：本研究集会の趣旨と、日本の自殺対策を持続的に発展させていくための問題意識や、研究、実践のあり方について共有します。

企画・座長：大塚尚（東京大学 相談支援研究開発センター）  
勝又陽太郎（東京都立大学人文社会学部）

9:30 主催者挨拶「本研究集会の趣旨－自殺対策の持続的な発展に向けて」  
竹島正（川崎市総合リハビリテーション推進センター／大正大学地域構想研究所）

10:10 講演「自殺総合対策大綱の作成にむけた有識者会議で感じたこと：  
EBPMとQuality Managementの観点から」  
椿広計（統計数理研究所／自殺総合対策の推進に関する有識者会議）

11:20 休憩

11:30 意見交換

12:20 座長まとめ

13:30-16:30

趣旨：新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行後のわが国における自殺の状況・動向を、いくつかのデータおよび疫学的アプローチによって把握し、その背景要因を探索する研究の成果を報告します。

企画・座長：高橋邦彦（東京医科歯科大学 M&D データ科学センター）  
岡檀（統計数理研究所医療健康データ科学研究センター）

13:30 「COVID-19 感染拡大による自殺率上昇の地域差および性差、背景要因の把握」  
岡檀

14:00 「非正規雇用と自殺念慮：COVID-19 流行下のオンライン横断調査」  
佐々木那津・西大輔（東京大学医学系研究科）

14:30 「COVID-19 流行下の社会状況の変化が自殺者数に与える影響：  
人流変化と地域・要因別の検討」  
安齋達彦・高橋邦彦（東京医科歯科大学 M&D データ科学センター）

15:00 「現代社会の自殺をどうとらえるか：フェイス論の視点について」  
阪本俊生（南山大学経済学部）

15:30 休憩

15:40 指定討論  
山内慶太（慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科）  
松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

16:20 座長まとめ

<p><b>11/5</b>  9:30-12:30</p>	<p><b>趣旨：</b>自殺行動が生じた後の支援である未遂者支援、遺族支援、支援者支援の取り組みや学術的知見を報告します。</p> <hr/> <p><b>企画・座長：</b>小高真美（武蔵野大学人間科学部） 高井美智子（埼玉医科大学医学部）</p> <hr/>
<p>9:30 9:35 9:50 10:20 10:50 11:00 11:30 11:45 11:50 12:10 12:25</p>	<p><b>趣旨説明、発表者の紹介</b> 高井美智子</p> <p><b>「未遂者支援における家族との関わり」</b> 高井美智子</p> <p><b>「自殺で残された遺族へのインタビューで見えてきたもの」</b> 大倉高志（岡山県立大学保健福祉学部）</p> <p><b>「専門職であり遺族である立場から：エモーショナル・リテラシーへの着目」</b> 引土絵未（日本女子大学人間社会学部）</p> <p>休憩</p> <p><b>「遺族支援の実際」</b> 田中幸子・斎藤智恵子（全国自死遺族連絡会）</p> <p><b>「“支援者”としてのサバイバー経験とケア」</b> 小高真美</p> <p>休憩</p> <p><b>指定発言</b> 白川教人（横浜市こころの健康相談センター）</p> <p><b>討論</b></p> <p><b>座長まとめ</b></p> <hr/>
<p>13:30-16:30</p>	<p><b>趣旨：</b>2021年度研究集会においてCOVID-19感染症拡大下における支援現場の実態や取り組みが報告されたが、その後の現場の状況についてあらためて報告します。また、2日間の研究集会の内容を踏まえ、今後の自殺対策の持続的な発展に向けて話し合います。</p> <hr/> <p><b>企画・座長：</b>大塚尚（東京大学 相談支援研究開発センター） 勝又陽太郎（東京都立大学人文社会学部） 竹島正（川崎市総合リハビリテーション推進センター／大正大学地域構想研究所）</p> <hr/> <p>13:30 <b>趣旨説明、発表者の紹介</b> 勝又陽太郎</p> <p>13:35 <b>「行政の現場から：川崎市における取り組み」</b> 橋本貢河（川崎市総合リハビリテーション推進センター）</p> <p>14:05 <b>「学校の現場から：スクールカウンセラーの取り組みと報告～予防と危機対応～」</b> 巽葉子（大阪府公立学校スクールカウンセラースーパーバイザー）</p> <p>14:35 休憩</p> <p>14:50 <b>円卓会議「自殺対策基本法20周年に向けて、研究と現場実践をつなぎながら効果的な自殺対策を進めていくために」</b></p> <p>16:20 <b>閉会の挨拶</b> 竹島正</p> <hr/>

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の世界的流行後における  
自殺予防・遺族支援のあり方に関する学際的研究集会  
Interdisciplinary study meeting for suicide prevention and survivor support  
after the COVID-19 pandemic

## 自殺対策の持続可能な発展に向けて

企画委員：大塚 尚 (東京大学相談支援研究開発センター)  
岡 檀 (統計数理研究所)  
勝又陽太郎 (東京都立大学人文社会学部)  
小高 真美 (武蔵野大学人間科学部)  
高井美智子 (埼玉医科大学医学部)  
高橋 邦彦 (東京医科歯科大学 M&D データ科学センター)  
竹島 正 (川崎市総合リハビリテーション推進センター/大正大学地域構想研究所：研究代表者)  
椿 広計 (統計数理研究所：受入研究者)

協力：一般社団法人 自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター  
一般社団法人 全国自死遺族連絡会  
一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会  
武蔵野大学しあわせ研究所

この共同研究集会についての問い合わせは事務局にお願いします。  
covid19spss.ismtaisho.2022@gmail.com